

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 生涯にわたる多様な学習機会の拡充			
1 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■二十歳のつどい：参加者115名 参加率79.9%) ■すこやか大学講座の実施 学生302人 8講座開催、クラブ活動の実施 ■社会教育委員会の開催 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ■令和4年4月の成人年齢の引き下げに伴い、成人式の在り方を検討し、ふるさとを見直す機会をと「二十歳のつどい」に内容を変更し実施した。 ■新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら、予定事業の実施ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■感染症の拡大により、講座等への出席について、躊躇される高齢者等が見受けられた。
2 社会教育活用施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■社会教育活用施設の管理運営(由良地区、日ヶ谷地区、上宮津地区、養老地区) ・社会教育活用施設利用許可件数 合計2,379件 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の利用制限がある中、気軽に利用できる生涯スポーツ施設として利用件数が増加した。 ■地域住民の身近な生涯スポーツ施設として定着が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の老朽化
3 公民館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■地区公民館の管理運営 ■各地区公民館事業の実施、支援 ■中央公民館事業の実施：2回 ■市民実践活動センターへの中央公民館指定管理実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら、予定事業の実施ができた。 ■各地区毎に地区住民の学習ニーズ等を踏まえ、文化講座、講演会、健康づくり、スポーツ大会などを実施することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ■人口減少に伴う活動方法の検討 ■施設老朽化
4 図書館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市立図書館協議会の開催 2回/年 ■図書館の管理運営 ・地域高校連携事業、市内中学校連携事業 ■「はまなす文庫」(移動図書館車)の運行 ■宮津市立図書館開館100周年・移転開館5周年記念イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■図書館利用者の拡大を図るため、中高校生による図書展示のコーナーを設置し、中高生の利用促進を図った。 ■100周年記念事業として、講演会等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■電子図書館、移動図書館の更新など、時代にあった「新しい図書館」の検討
② 人権教育・啓発の推進			
5 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■聴覚障害者成人講座の実施：1回 参加者11名 ■障害者青年学級の開催 38回/年 参加者延べ181名 ■人権教育講座、企業人権教育推進協議会への支援 ■人権問題研修会の開催 2回/年 参加者144名 ■人権カレンダーの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症の予防につとめ、各種講座を開催した。 ■市の広報誌に人権コーナーを設け、毎月人権に関わる記事掲載することにより市民への人権啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■指導者の後継者育成 ■各種事業への参加者の増加(固定化・高齢化) ■多様化する人権問題への対応

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
③ 家庭や地域の教育力の向上			
6 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■青少年問題協議会の開催 1回/年 ■青少年健全育成事業 子どものびのび体験活動 101回/年 参加者延べ1974名 (放課後等見守り、陶芸、工芸、料理教室等) 小学生自然科学講座 2回 参加者延べ30名 わくわく星座教室 参加者11名 ■中学生の主張大会：来聴者95名 	<ul style="list-style-type: none"> ■放課後における児童の居場所づくりとして、公民館事業による放課後見守り事業を実施した。 ■家庭教育啓発リーフレット(乳幼児期)を作成し、乳幼児健診時に配付することにより、子育て時における家庭教育の啓発を図った。 ■家庭教育啓発チラシを作成し、夏、冬休み前に、幼稚園、小中学校保護者に配布し啓発を行った。 ■中学生が日頃考えていることをまとめ、発表する機会として実施し、市民への中学生の考えを理解する機会とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ■放課後見守り活動の継続的な実施 ■家庭教育研修会への参加者の増加を図るために、内容の工夫
7 地域学校協働活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■地域学校協働活動推進委員の配置 宮津学院2名 栗田学院2名、北部4小学校各1名 ■推進員連絡協議会、研修の実施 3回 ■地域学校協働活動の実施 体験活動、学校支援ボランティア 78事業 実施回数 1,055回 参加者延べ3,809人 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校運営協議会と連携を図り、地域学校協働活動が実施できた。 ■市内全小中学校区に地域と学校の連携を図る推進委員が設置できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校運営協議会の議論を踏まえた地域学校協働活動の実施
④ ふるさとみやづ学の構築			
8 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■すこやか大学第2講座(歴史訪問)の実施：参加者19名 ■ふるさとみやづ学～高校生立志編～の開催 市長との座談会、市長への提言 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種年代層に「ふるさとみやづ」を考える学習活動を展開することを目的に事業を実施した。 ■市内高校生に高校生らしい視点で、「ふるさとづくり」「地域づくり」などの学習を行うことを目的に、市長との座談会を実施し、高校生の考えをまとめ、市長に提言を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■各地区公民館活動の中でのふるさとみやづ学の展開 ■高校生との連携の強化

【総括】	<p>○生涯にわたる多様な学習機会の拡充 新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めながら、公民館活動を中心に、各種生涯学習事業の実施したが、感染予防のため、参加が低調となったが、様々な工夫で、事業が実施できた。</p> <p>○人権教育・啓発の推進 新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めながら、各種事業の実施した。今後は、複雑した社会の中、現代のニーズにあった人権問題に対応する必要がある。</p> <p>○家庭や地域の教育力の向上 地域学校協働活動の推進を図ることを目的に、地域学校協働活動推進委員を委嘱し、学校運営協議会と連携した活動が展開できた。</p> <p>○ふるさとみやづ学の構築 宮津への理解と愛着を深めていくための「ふるさとみやづ学」を構築するため、高齢者大学、図書館講座、公民館事業にふるさとみやづをテーマにした講座等を実施する予定であったが、一部の実施にとどまった。しかし、高校生を対象に高校生が考えるふるさとみやづへの提言等を行う高校生立志編を昨年度に引き続き実施した。</p>
-------------	--

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実			
1 教育委員会活動費／ 教育委員会事務局経費	<ul style="list-style-type: none"> ■教育委員会：14回／年 ■総合教育会議：1回／年 ■教育研究協議会：2回／年 	<ul style="list-style-type: none"> ■総合教育会議における教育振興計画の進捗状況等の確認 ■教育委員会事務事業点検評価の実施 	
2 私立幼稚園振興助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ■私立幼稚園振興補助金：12人 ■施設等利用費等（無償化分）：38人 ■実費徴収に係る補足給付：13人 	<ul style="list-style-type: none"> ■私立幼稚園教育の振興と保護者の経済的負担の軽減 	
3 幼稚園・小学校・中学校管理・教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園2園、小学校6校、中学校2校 ■小規模校における児童のより良い教育環境の確保 ■特別支援教育支援員配置(小10人・中3人) ■漢字検定料(小238人)、英語検定料補助(中173人) ■府中小学校バリアフリー整備（トイレ改修、階段昇降機購入） ■学校施設等の在り方検討委員会の開催 	<p>[R7目標]全国学力・学習状況調査における教科に関する調査の平均正答率：常に全国平均と京都府平均を上回る状況にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公立幼稚園入園児数：34名(R3:41名) ■通常学級に在籍する要配慮児童等への教育支援充実 ■全国学力・学習状況調査の正答率： <p>R4 市(全国・京都府)</p> <p>小6 国語 62.0(65.6・68.0) 中3 国語 70.0(69.0・69.0) 算数 59.0(63.2・65.0) 数学 51.0(51.4・52.0) 理科 61.0(63.3・64.0) 理科 54.0(49.3・49.0)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■R3.4月～公立幼稚園で給食を開始 ■日置小学校・養老小学校のより良い教育環境を確保するため、学校再編を引き続き協議していく必要がある ■児童生徒の学力向上に向けて、引き続き、対策の強化を図る必要がある □学校施設の将来にわたる設置方針を検討する必要がある □幼稚園、保育所(園)等就学前施設の設置方針を検討する必要がある
4 スクールバス運行・購入事業／遠距離通学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の安全確保のためスクールバス(8路線)の運行 ■R4.4月～上宮津線1路線について福祉有償運送を活用 ■公共交通機関利用児童生徒への遠距離通学費補助金支給 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の通学時の安全確保が図られた ■生活交通の確保が図られた 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の安全な通学手段の確保等を図るため、引き続きスクールバス運行に努める
5 就学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> ■新入学学用品費の入学前支給の実施 ■R4～家庭学習に係るオンライン通信費の支給を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■就学援助により経済的理由による非就学児童生徒は発生していない 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの貧困対策の一環として、事業の継続的な実施が必要である
6 宮津の新たな学び創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市教育フォーラムの開催 ■課題解決型学習、ICT利活用の実践研究「学びの深化プロジェクト」R3～R4 ■「宮津の新たな学び創造実践校」R3～R4 ■「絆の作り手育成プログラム」R3～R5 ■高校との連携推進（英語教育、ふるさとみやぶ学等） ■家庭学習用モバイルルーター貸出 ■算数学び定着サポーター兼ICT支援員の配置 ■プログラミングソフト等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市教育フォーラムでの啓発と理解の推進 ■小中一貫教育の推進と学力向上プランに基づく取組の展開 ■宮津市版教科・領域等カリキュラムに基づいた指導 ■1人1台タブレット端末を活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの実現に向けた授業改善 ■家庭でのオンライン学習など臨時休校時における学習保障 	<ul style="list-style-type: none"> ■推進基本計画及び学力向上プラン、教科・領域等カリキュラムに基づく認知能力・非認知能力を一体的に育む教科指導等のさらなる充実が必要 ■府研究指定事業等の成果について学校間で共有し横に展開 ■ICTを活用した新たな学びの構築、活用方法の検討・実証、家庭での予習学習・反転学習への活用
7 英語指導事業	<ul style="list-style-type: none"> ■英語指導助手配置(小学校)：1名 ■英語指導助手配置(中学校)：1名 	<ul style="list-style-type: none"> ■全幼稚園・保育所等への共通した国際理解教育の提供 ■英語指導助手の生の英語授業による児童生徒のリスニング能力の向上、外国人とのコミュニケーション能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人観光客対応も含め、市民全体の国際理解強化を図る必要がある ■英語活動、英語科の指導の充実に向けて、教員の英語力向上を図る必要がある

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業		事業実績	成果	課題・検証
8	学校給食運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園給食の開始 ■民間委託によるセンター方式給食の実施 ■宮津市学校給食委員会の開催 ■センター方式を導入した学校の給食費の公会計による管理 ■学校給食食材調達登録制度の運用と食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■中学校給食及び民間委託によるセンター方式給食の継続実施(小学校4校、中学校2校、幼稚園2園) ■アレルギー対応マニュアルの一部改訂 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度から一部公会計化した学校給食費保護者負担金の債権管理
9	のびのび放課後クラブ事業	<ul style="list-style-type: none"> ■民営クラブ4箇所(宮津、吉津、府中、栗田) ■R4.4~宮津のびのび放課後児童クラブを民間委託化 ■希望者に夏休み中の昼食提供を実施(宮津) ■全クラブの指導員を対象に研修を実施(令和4年度「コロナ禍の子どもの遊びについて」) ■全クラブにWi-Fi環境を整備し学習用タブレットの持ち帰り学習に対応 ■3密防止の分散活動のため小学校特別教室にエアコン設置(府中) ■指導員等の処遇改善を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校敷地内運営施設数:4箇所 ■民営クラブ:定員217名→実利用児童数199名 ■加配支援員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援を必要とする児童の受入れに向けた職員体制の充実 ■指導員等の処遇改善支援の継続実施
10	新型コロナウイルス感染拡大防止事業(学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染拡大防止対策(マスクや消毒液等の保健衛生物品、CO2センサー等の備品整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ■小中学校及び幼稚園において新型コロナウイルス感染症対策が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の継続
② 夢・志・豊かな感性を持った人づくり				
11	こころのまど・ひろば運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■教育相談室「こころのまど」 ・相談件数 来室47件、電話152件、訪問22件 ■適応指導教室「こころのひろば」 ・児童生徒支援 通室155回 ・卒業生支援 来室60回 ・保護者等支援 面談等150回、家庭訪問22回 ・学校訪問 会議等83回 	<ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の居場所づくり、登校支援実施 ・R4不登校児童生徒の出現率:小2.87% 中5.52% 	<ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の学校復帰及び社会的自立に向けた継続的な取組が必要
12	いじめ防止対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめの認知件数(小220件・中36件) 解消:小129件・中17件/解消に向け取組中:小91件・中19件 	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめの未然防止や早期発見・早期対応のための継続的な取組が必要

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
③ 地域と一体となった学校づくり			
13 地域と学校の連携・協働推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津学院 学校運営協議会 7回 <ul style="list-style-type: none"> ○マラソン大会安全監視ボランティア ○そろばん、ミシン、書初めの学習支援 ○杉山観察会ほか ■栗田学院 学校運営協議会 7回 <ul style="list-style-type: none"> ○図書室環境整備 ○読書ボランティアによる読み聞かせ ○運動会・体育祭前のグラウンド除草作業ほか ■吉津小学校 学校運営協議会 5回 <ul style="list-style-type: none"> ○地域史跡等探索 ○老人会とのグラウンドゴルフ交流 ○運動会での太刀振り披露ほか ■府中小学校 学校運営協議会 6回 <ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせボランティア ○あいさつ運動、草刈ボランティア ○サツマイモ掘り体験ほか ■日置小学校 学校運営協議会 6回 <ul style="list-style-type: none"> ○地域探検 ○農作物収穫等体験（こんにゃく、オリーブ収穫、干し柿、味噌づくりほか） ■養老小学校 学校運営協議会 4回 <ul style="list-style-type: none"> ○地域探検（犀川） ○アカモク植付・収穫体験 ○マラソン大会安全監視ボランティアほか 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校運営協議会委員が授業参観や学校行事、取組等で学校に足を運ぶ回数が増え、児童生徒に接することで、会議での積極的な発言も出てきて、学校運営協議会の意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校（教職員）及び地域（運営協議会委員）に負担がかからない取り組み、持続可能な取り組み。

【総括】	<ul style="list-style-type: none"> ○質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育では、「小中一貫教育推進基本計画」、「学力向上プラン」、「宮津市版教科・領域等カリキュラム」に基づいて、基本方針の具体化と教育施策の明確化、各教科の指導内容の共有化を図るなど、認知能力・非認知能力を一体的に育む先進的・効果的な事例による質の向上を図ることができた。 ・ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現する先進的・効果的な取組を推進することができた。 ・家庭でのオンライン学習の実施など、臨時休校時等における学習の保障が可能となった。 ・学校給食運営事業では、食育の推進及び平成30年度2学期からの中学校給食とセンター方式給食等の継続的な運用を行った。また、幼稚園給食は、令和3年度1学期から実施できた。 ・就学児童生徒援助事業では、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を継続し、児童生徒の保護者の経済的負担の軽減をさらに拡充することができた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を強化し、児童生徒が安心して学習できる環境を整備した。 ・放課後児童クラブ事業では、全クラブを民間委託するとともに、開設時間を引き続き午後7時までに延長し、受け入れ環境の充実を図ることにより更なる保護者の支援につながった。 ○夢・志・豊かな感性を持った人づくり <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談室「こころのまど」、適応指導教室「こころのひろば」を開設し、児童生徒及び保護者等の相談にきめ細かく対応するとともに、近年、増加傾向にある不登校児童生徒の自主性や学習意欲を高め、学校復帰に向かえるよう活動を行うとともに、保護者への支援及び学校との連携を行った。 ・教育相談会・教育支援委員会による就学支援を実施し、小中学校の特別支援教育支援体制の充実を図るとともに、全幼稚園・保育所（園）・小中学校における教育支援計画の作成を行い、支援を必要とする子どものニーズに応じた教育、支援を実施した。 ○地域と一体となった学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールを中心とした地域学校協働活動を展開することにより、地域と学校の連携が図られ、児童生徒の学びが深まるとともに、地域活動の活性化につながった。
-------------	--

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 歴史文化資源の調査・価値づけ・保存			
<p>1 文化財保護・活用推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財保護審議会の開催（2回） <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財候補物件の選定・審議等 ・「文化財保存活用地域計画」ほか重要事項審議 ■市内新指定等文化財（R4年度） <ul style="list-style-type: none"> ①宮津市指定文化財 新規指定なし ②京都府指定文化財 1件（暫定昇格1件） ③京都府暫定登録文化財 3件 ■両丹文化財保護連絡協議会（11/30 於：大宮） <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「災害と文化財」 両丹地域の審議会委員、担当者（約50名） ■文化財説明板の設置・更新（更新3件） <ul style="list-style-type: none"> ①「木造地藏菩薩坐像(如意寺)」(字由良) ②「天橋立神社」(字文殊) ③「木造観音菩薩立像」(字脇) ■市内文化財保全事業(所有者実施) 7件 <ul style="list-style-type: none"> ①宮津市社寺等文化資料保全費補助金 0件 ②国宝重要文化財等保存整備費補助金 0件 ③京都府指定・登録等文化財等補助金 2件 ④京都府社寺等文化資料保全補助金 3件 ⑤国・府指定登録文化財等維持管理費補助金 2件 ⑥その他補助金 2件(民間財団 ②と重複交付) ■文化財保存活用地域計画の策定（R2～R5） <ul style="list-style-type: none"> ・地域計画作成検討協議会での審議（2回） ・地形図、地域区分図の作成(委託) ■「みやづ歴史紀行」の連載 <ul style="list-style-type: none"> 広報みやづ(月1回発行)に継続して連載 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内新指定文化財 <ul style="list-style-type: none"> 新規の文化財指定等については昇格も含め4件。しかしながら市の新規指定は最近滞っている状況。 今後、過疎化により、今まで地域で守ってきた社寺等の建造物の保全が課題になる、今後も調査・把握を続け、指定登録等の作業を推し進めていく必要がある ■市内文化財の保全事業 <ul style="list-style-type: none"> 所有者が行う文化財の修理事業のコーディネートを実施。府と連携し、多くの市内の貴重な文化資料の保全を図ることができた。また、多額の事業費を要する府指定美術工芸品修理(1件、R3～4の2ヵ年事業)に対し、民間の補助金を活用して所有者の負担を軽減して実施完了することができた。 ■文化財保存活用地域計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護の保護、活用のマスタープランとなる「宮津市文化財保存活用地域計画」について令和5年度文化庁による計画認定をめざし作業を進めた。令和4年度は、市内文化財の把握とデータ整理を行うとともに、宮津市文化財保存活用地域計画策定協議会において計画の構成を検討し、原稿執筆や図版作成等の計画書のレイアウト作業を進めた。 	<p>「地域計画」についてはR5年12月の文化庁認定を目指し、文化庁や関係省庁との協議を進める。また、計画認定後は事業計画に基づき、総合的に具体的事業を実施できるよう調整を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市内の未指定文化財の調査と価値付け <ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の指定の推進 ・府指定・暫定登録文化財制度の活用 ・市指定文化財のあり方検討と新規指定 ■指定文化財等のランクアップ <ul style="list-style-type: none"> ・府・市指定文化財を国・府指定文化財へ ■文化財保護に係る普及啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ※教育普及や市民ニーズの答えるよう実施 ・歴史講座等の実施 ・ICTを活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ※(総合的な文化財DBの構築) ■文化財の活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化財を活かしたまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ※ひとづくり(教育) まちづくり(観光等)の視点 ■市内文化財の保全事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・府等の補助制度を活用した市内の文化財修理事業の推進 ・市独自の文化財保全事業補助制度の構築 <ul style="list-style-type: none"> (※市指定文化財修理に対する補助制度など) ■人づくり・まちづくりに資する文化財の保存と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用に係るマスタープラン作成 <ul style="list-style-type: none"> R5 文化財保存活用地域計画の文化庁計画認定 ・学校教育、社会教育、その他との連携協力体制構築
<p>2 市内遺跡発掘調査事業</p>	<p>市内遺跡の保護と活用を図るため、埋蔵文化財包蔵地内での開発行為との調整を図るとともに、必要に応じ工事立会を行った（7件）。</p> <p>また、平成28年度より年次的に実施している安国寺遺跡発掘調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査の実施（28年度からの継続事業） <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査、過去調査の遺物整理を実施。 ・現地説明会（一般）、現地見学会（府中小学校）については未実施 ■開発行為に伴う工事立会 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津城跡など 18件 ■遺跡保護のための開発行為との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> 古代国府及び中世の安国寺に関する遺構の検出を視野に、重要遺跡の範囲内容確認調査として平成28年度から継続して実施中。令和4年度は室町期の連続土抗（埋甕遺構？）や平安後期の土器だまりを検出。 	<ul style="list-style-type: none"> ■安国寺遺跡発掘調査 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡の範囲や遺構、文化層の所在を正確に把握するため、年次計画に基づき系統的な調査を継続実施し、遺跡の保全のための措置を講じる必要がある。 ・H4以降の調査期間の延長 ・遺跡の価値の証明と保全に関する措置の検討 ・調査成果の普及啓発と活用 ■増大する民間開発（主に宅地造成）に対する対応 ■国史跡「成相寺旧境内」の保全活用

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
<p>3 重要文化的景観保護推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文化的景観検討委員会の開催（2回） <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備事業改修内容、現状変更の審議 ■ 「重要な構成要素」の整備事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ① 天橋立栈橋（実施設計） ② 溝尻舟屋（実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 所有者が行う「重要な構成要素」建造物整備事業2件に対し補助金の交付等の支援を実施。また設計にあたって検討委員会を開催し識者の助言を得て行った。 ■ ほか、他の補助金を受けて所有者が行う文殊地区の「重要な構成要素」の整備改修事業に対し、文化財的な価値を損なわないような改修になりよう適宜指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宮津市街地地区の追加選定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保存管理計画の策定 ・ 地域同意を得るための普及啓発活動、説明会等の開催 ・ 文化庁への選定申出、景観計画変更等 ■ 計画的な整備事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観まちづくりの視点を持ち対象を誘導

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
② 歴史文化を学び親しむ機会の創出			
4 世界遺産登録推進事業	<p>天橋立世界遺産登録推進のため、民間で構成される「天橋立を世界遺産にする会」が行う機運醸成・普及啓発等の事業に対し補助金を交付し、京都府や地元自治体、関係機関などと連携の上、その活動を支援した。</p> <p>また、天橋立が名勝に指定されて100年、特別名勝に指定されて70年の節目の年に、改めて天橋立の価値や保全活用の原点をみつめ直し、未来への継承について考える機会とするべく、市長部局とも連携の上、記念事業を実施した。</p> <p>■世界遺産にする会による機運醸成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 天橋立世界遺産講座（9～10月4回 歴彩館） ※同時開催：パネル展示「天橋立と世界遺産」展 天橋立国際オンラインカンファレンス（2/3） 世界遺産「モンサンミッシェル」関係者 パネル展示「名勝100年から次の100年へ～」（1/19～3/7 歴彩館） 関連団体、イベントとの連携およびPR活動 クリーン橋立一斉清掃（4/17） 迎春 天橋立一斉清掃（12/11）、 宮津市文化祭（10/3・5） など <p>■名勝100年・特別名勝70年記念事業 933,368円</p> <ul style="list-style-type: none"> 天橋立名勝100年・特別名勝70年記念シンポジウム（11/19） ウォークイベント「特別名勝・天橋立を歩く」（11/20） 歴史講座「映像でみる天橋立の歴史と魅力」（7・8月）4回 天橋立世界遺産講座（録画上映）（7月）全4回 記念グッズの作成（デザイン手ぬぐい ほか） 	<p>■天橋立国際オンラインカンファレンスの開催 世界遺産「モンサンミッシェル」の関係者と天橋立側の関係者、有識者をつなぐオンラインカンファレンスを開催。先行事例の有意義な示唆を受けるとともに、今後の連携協力の約束いただいた。</p> <p>■名勝100年・特別名勝70年記念事業の展開 「記念シンポジウム」の開催を柱に、市他部局も含め様々な記念事業を展開（橋立内でのモノオペラ上演 ほか）。展開記念事業や情報発信を市長部局とタイアップして実施。これを期に新聞等メディアの取り扱いが増大。広範囲に天橋立世界遺産登録に向けた機運醸成につなげることができた。</p>	<p>■「顕著な普遍的価値」（OUV）の調査研究と提示</p> <ul style="list-style-type: none"> 府「天橋立世界遺産登録推進会議」への協力 学識者による調査研究 他地域との交流、情報交換 <p>■世界遺産登録に向けての機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 天橋立を世界遺産にする会への活動支援 府、近隣他市町、他機関との連携協力の推進
5 重要文化財旧三上家住宅管理運営事業	<p>■指定管理者による管理運営の実施（建物公開）</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者 NPO法人 天橋作事組 観覧者数 2,373人（R3年度：1,599人） <p>■観光コンテンツ化による賑わいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化観光プログラムの開発支援 モニターツアー ほか 夜間ライト及びイベント開催 夜間音楽イベント開催 9回 プロモーション用映像コンテンツの作成（2本） 	<p>■指定管理者によるユニークバニユー活用の推進。 夜間イベントの定期的開催や、Cafeの運営など、観覧のみでない新たな施設の利活用について軌道に乗りつつある。また利用料金外の自主事業収入もあり、収益性の向上につながった。 観覧者数については、コロナ禍を抜け出し前年度約150%の増となったが、まだコロナ前の数値にも足りていない状況で更なる集客のための取り組みが必要。</p>	<p>■文化財建造物としての適切な保管理、また公の施設として持続可能な管理運営を行えるシステムの構築（収益性向上など）</p> <p>■建物の耐震診断、活用も踏まえた大規模修理の検討</p>

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
6 みやづ歴史の館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指定管理者による管理運営の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者 公益財団法人宮津市民実践活動センター ・ 文化ホール利用者人数 10,383人 ■ みやづ歴史の館に係る修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 非常電源油タンク修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文化ホールの利用者は、コロナ禍を抜け出し、R3度の7,227人から10,383人に増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公共施設マネジメントによる方針決定により、建物及び設備の老朽化による大規模改修の検討

【総括】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財保護・活用推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「文化財保存活用地域計画」のR5年度中の文化庁計画認定を目指し、必要な作業を進め。本市の文化財保護活用のマスタープランとして、歴史文化を活かしたまちづくり、人づくりに資する計画にしたい。 ○ 市内遺跡発掘調査事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安国寺遺跡発掘調査においては、年次的に調査事業を実施中。計画期間の見直しや、遺跡の評価、今後の保全策等についても検討を進めていく必要がある。 ・ 安国寺遺跡のほかの市内の重要遺跡についても、発掘調査を計画的・継続的に実施し、遺跡の内容や特質、価値を明らかにし、保全活用に資する資料を蓄積していきたい。 ○ 重要文化的景観保護推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 所有者が実施予定の整備事業2件に対する支援、他補助での整備事業に対しての指導を行った、文化的景観の本質的価値を損なわないよう今後とも選定区域の景観保全に留意して作業を進めたい。 ○ 世界遺産登録推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「2022天橋立名勝100年・特別名勝70年」の記念事業の展開により各メディアでの取り扱いが増大。記念式典も実施し、広範囲での機運醸成につなげることができた。 ○ 旧三上家住宅管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ R3年度実施の環境整備を土台として、指定管理者による夜間イベントの定期的開催や、Caféの運営など、観覧のみでない新たな施設の利活用について軌道に乗りつつある。また利用料金外の自主事業収入もあり、収益性の向上につなげることができた。
------	--